



ゆみこの日記

他都市に学ぶ「避難所の安心」 —総務常任委員会で行行政視察—



1月26日（月）から28日（水）の3日間、総務常任委員会の行政視察として、石川県加賀市、静岡県三島市、東京都文京区を訪問しました。

テーマは「市民が安心して過ごせる避難所に関する調査」です。

各都市の先進的な取り組みに学び、福島市の避難所運営のあり方に活かしていきたいと思います。

「認知症予防にも手話を」 クリニックで手話コーラス



2月26日（木）、あずま通りクリニックさんにお誘いいただき、「認知症予防に手話を」のテーマで手話コーラスを行いました。

認知症や介護の心配を抱えていらっしゃるご家族が交流する場として、ホッとできる空間はとても大切だと感じました。



3月14日（土）10時から、小倉寺町会・春の交流会「ほほえみ祭り」が行われました。今年も千寿会やうたの会、女性部が合同で、ゲームや歌で楽しく交流しました。

明るく楽しく、にぎやかに♪
小倉寺町内・春の交流会

原発のない福島を！



3月26日（土）、パルセいいざかで開催された「2026 原発のない福島を！県民大集会」に参加しました。
原発事故から15年、福島の痛みを風化させず、次世代に継承していくことを誓いました。

三浦ゆみこと歩む会



三浦ゆみこの
Instagram、
随時更新中です



ぜひ、「歩む会」会員になってください

〒960-8142

福島市小倉寺町畑 13

TEL / FAX : (024) 563-1539

E-mail : miura.yumiko5.27@gmail.com

社民党・福島市議会議員



三浦ゆみこと歩む会



AYUMU KAI News Letter No.11

2026年4月

あれから15年 3.11に想う

今年も東日本大震災追悼復興記念式典が福島市のパルセいいざかで行われました。

あれから15年を迎えることを“節目”のように言われていますが、何かが終わったわけではなく、原発事故の収束・廃炉作業も困難な問題を抱えたままです。

この過酷な事故を二度と繰り返さないことを願う私たちの思いと裏腹に、政府は、「原発の最大限活用」を打ち出しています。

“喉元過ぎれば熱さを忘れる”政治を質し、国民の安全を最優先に考え、安心して暮らすことができるように今後も皆さまと一緒に行動してまいります。



三浦由美子



3月定例会議で挨拶の様子

令和8年度3月定例会議では、馬場市長より、今年度から「データ行政の確立」を基本として次期総合計画の素案の検証と検討に時間を要するため、総合計画の1年延長議案が提出されたことを受けて、3つの項目について一般質問をいたしました。

一つ目は、馬場市長が掲げる「データ行政」に関連して、行政の現状や課題について質問し、データ行政が市民生活に役立てられるよう要望いたしました。

次に、分野別個別計画が1年延長されることで、「困難な問題を抱える女性への支援に関する法律」に関する基本計画の進行や支援体制の確立にどう影響するか、確認をいたしました。

最後に、「新シルバールパスポート」について、上限額や利用方法が見直しされて1年になることから、現状把握や課題について質問いたしました。

この間、物価高騰に歯止めが掛からず、東口再開発事業計画の見直しを含め、工期の遅れが懸念される一方、今年度は「大ゴッホ展」や「ふくしまディスプレイネーション」が開催されています。

市民の皆さまの暮らしの安心・安全が何より大切にされる、魅力ある福島市の発信に努めてまいります。

安心・安全、魅力ある福島を

3月議会で一般質問に立ちました — 裏面にダイジェスト版を掲載しています

すべての市民に「安心と安全」を 3月定例会議

■ 質問項目 ■

- 1 市政運営の最優先事項 1 データ行政の確立について
- 2 「困難な問題を抱える女性への支援に関する法律」に基づく基本計画について
- 3 新シルバーパスポートについて

「データ行政」の確立について

馬場市長が市政運営の最優先事項に掲げている「データ行政の確立」に向けた現状と課題について、以下の7点にわたり質問をしました。

- ① 庁内に分散するデータの収集の現状と今後の課題について
- ② 庁内に分散するデータの整備の現状と今後の課題について
- ③ 福島市におけるデータ利活用とEBPMの一体的な運用の現状と今後の課題について
- ④ 福島市におけるオープンデータの活用の推進の現状と今後の課題について
- ⑤ 福島市におけるデータの利活用推進組織の構築の現状と今後の課題について
- ⑥ データ利活用人材育成の現状と今後の課題について
- ⑦ 「福島市のデータブックの確立」の取り組みで明らかになった、福島市の「データ行政」の現状と今後の課題について

※ EBPM とは：政策の企画をその場限りのエピソードに頼るのではなく、政策目的を明確化したうえで合理的根拠（エビデンス）に基づくものとする。

「女性支援」のための基本計画について

令和6年4月に施行された「困難な問題を抱える女性への支援に関する法律」に関して、昨年の6月定例会議で、本市における基本計画策定の進捗状況など、確認してきたことを踏まえて、以下の7点について質問をしました。

- ① 令和7年度に4回行われた福島市男女共同参画審議会における今後の支援に対する具体的な施策提案について
- ② 「困難な問題を抱える女性への支援に関する法律」で定める「市町村基本計画」について、今年度中に策定されるのか
- ③ 総合計画の1年延期により、23項目の分野別個別計画も同じく延長されることで、空白を生む恐れがあることから、この1年間に何を取り組み、どう令和9年度に繋げていくのか
- ④ 官民で協力して行う「福島市困難な問題を抱える女性への支援調整会議」の内容と目的について
- ⑤ 相談支援員の採用や職員の配置などの体制強化について、どのように検討されているのか
- ⑥ 男女共同参画ふくしまプランにおける女性相談事業として取り組まれている各種研修会への参加で得られた知識をどのように活用されているか
- ⑦ 令和9年度に向け、女性への相談・支援体制の充実を図るため、令和8年度に計画されている女性相談事業における研修会の内容について

新シルバーパスポートについて

新シルバーパスポートのスタートから約1年が経過しました。誰もが安心して使える制度を求めて、以下の7点について質問しました。

- ① 新シルバーパスポートがスタートから1年の現状分析について
- ② 令和8年1月末時点のタクシー併用申請者25,814人のうち、公共交通の路線がない地域からの申請者数、実利用者数について
- ③ 期待していたタクシー利用が伸びない要因について
- ④ 高齢者が使いやすい方法の再検討について
- ⑤ 全ての対象者が利用できる制度への見直しの必要性について
- ⑥ 申請された方の中で、まだ利用されていない方の人数について
- ⑦ 「高齢者、障がい者をはじめ誰もが安全安心に利用できる環境の構築」に向けた市全体の交通体系の確立について

ゆみこの視点

▼福島市は2024年・2025年と、日本DX大賞を受賞していますが、いずれも行政が重点的に取り組んだことが高く評価されたものです。今回、馬場市長が掲げる「データ行政の確立」についての私の質問で明らかになったことは、“各部署のデータの整備と連携不足”です。また、市民に求められている“オープンデータの利活用”についても、一部がPDF方式のために二次利用に適さないなどの課題が他の議員からも指摘されています。今後、「データ行政の確立」をしっかりと進めるために、行政内部の連携を図り、早急に課題をクリアにして、市民目線を第一に考えた分かりやすい情報の発信に努めていただきたいと思います。

▼昨年4月、上限額2万円とした新シルバーパスポート事業がスタートして約1年となることから、今回、現状把握と課題について質問いたしました。新たにタクシー利用が加わったことで、全体としては1月末時点で4,411人の利用増となりましたが、令和8年2月末時点での申請者36,067人に対し、まだ利用されていない方が15,471人と、約43%もいることが分かりました。市の答弁では「これまで公共交通を利用できなかった方からの感謝の声が届いている」とありましたが、利用時の手続きが理解されていないことや利用しにくい生活環境、任意となっているマイナンバーカードが利用の必須条件となっていることなど、まだまだ多くの問題が隠れていると思われます。こうした問題点を解消していく中で、利用者の皆さんに喜んでいただけるサービスに繋げていくことが求められています。高齢者や障がい者の方が、利用しやすい環境づくりに取り組み、誰もが安全安心に利用できる事業として維持・発展させていきたいと思います。

福島県ろうあ者大会開催

3月1日（日）、福島トヨタクラウンアリーナにおいて、第1回（通算44回）福島県ろうあ者大会が盛大に開催されました。

昨年は6月に「手話施策推進法」の制定、11月には100周年を迎える「東京2025デフリンピック」が日本で開催され、本県でもJヴィレッジで大会が行われるなど、聴覚障害者及び関係団体の方々には意義深い年でした。

手話施策推進法の制定を機に、私の第2のルーツである「手話」が“言語”として多くの方に認知され、広がることを期待し、今後も活動してまいります。



傍聴して下さった皆さん、ありがとうございます！

